

学習シラバス

第3学年

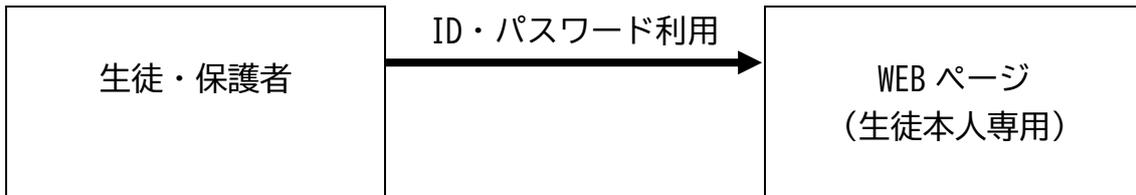


令和7年度

朝霞市立朝霞第一中学校

<テスト返却について>

教科やテストによっては、AI 自動採点システムによる自動採点を行っております。そのため、WEB 上での返却をする場合がございますので、ご理解の程よろしくをお願いいたします。



- ・ ID・パスワードは Microsoft アカウントを利用します。
- ・ パスワードは一人ひとり異なります。大文字・小文字・数字の4種類から生成されています。
- ・ 本人専用のページにアクセスし、答案を閲覧してください。

**※パスワードは絶対に他人に教えないでください！**

**※スキャン済みの解答用紙原本は、学校にて適切に処分  
します。(生徒には返却しません)**

# 3年生 国語の学習の進め方

## 評価の方法

3つの観点を(A), A, B, (C), Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA, B, Cの3段階で通知されます。

(A) : 十分に満足できるもののうち特に程度が高い A : 十分満足できるもの

B : おおむね満足できるもの (C) : 努力を要するもの C : 一層努力を要するもの

## ①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

## ②思考力, 判断力, 表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

## ③学びに向かう力, 人間性等

ノート・ファイル等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗誦テストなどをもとに評価します。

## 1 学期の学習

○詩「世界はうつくしいと」○小説「握手」○漢文「漢詩の世界」

○話す聞く「説得力のある構成を考えよう」

○話す聞く「意見を聞き、適切さを判断する」

○言語「「走っているのは誰？」」○言語「相手や場に応じた言葉遣い」

○論説「作られた「物語」を超えて」○漢字「熟語の読み方・漢字に親しもう」

○俳句「俳句の可能性」○書写（硬筆）○書く「論理の展開を意識して書こう」

○随筆「言葉の釣り糸を垂らす」○言語「和語・漢語・外来語」

## 2 学期の学習

○詩「挨拶」○小説「故郷」

○書く「論理の展開を整える」○言語「慣用句・ことわざ・故事成語」

○言語「漢字の造語力」○論説「複数の意見を読んで、考えよう」

- 詩「初恋」○古典「和歌の世界」
- 古文「古今和歌集仮名序」○古文「君待つと一万葉集・古今・新古今」
- 古文「夏草——「おくのほそ道」から」
- 論説「それでも、言葉を」○話す聞く・書く「話し合いを効果的に進めよう」
- 漢字「漢字のまとめ・漢字に親しもう」○書き初め（毛筆）

### 3学期の学習

- 随筆「温かいスープ」 ○随筆「アラスカとの出会い」
- 随筆「律儀な桜」 ○詩「わたしを束ねないで」○書く「三年間の歩みを振り返ろう」
- 詩「初日」○言語「文法 一、二年生の復習」

3年生であるため、教科書の内容以外にも問題演習等を行う予定です。

# 令和7年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学 年	3年	教 科 書	歴 史（新しい歴史）東京書籍 公 民（新しい公民）東京書籍 地図帳（中学校社会科地図）帝国	歴史 学び考える歴史資料（浜島書店） 公民 新しい公民（浜島書店） 問題集 歴史、公民（新学社、明治図書）
--------	----	-------------	---	---

## 1 学習到達目標

3年生では、歴史的分野と公民的分野の学習をします。  
社会科の学習到達目標は、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家、社会の形成者として必要な力を身に付けることです。将来皆さんは主権者として社会に出ます。社会の様々な事柄を読み取ったり、たくさんの資料を様々な角度から分析したりして、公正に判断する力、課題の解決策を構想する力を身に付けてほしいと考えています。  
社会科の学習を通して、自分自身が今まで身に付けた「ものの見方や考え方」を活用し、社会に関わり、課題を解決しようとする姿勢を大切にしてください。

## 2 学習方法

社会科の学習の目的は、細かいことがらをくり返し反復したり、暗記したりすることではなく、知識を関連づけたり、資料を活用したりして、物事の本質を追究することです。また、知識や資料を活用し、社会にみられる様々な課題に関心を持ち、よりよい社会の実現を視野に解決策を構想しようとする態度が重要です。  
何より日々の授業を集中して受け、テスト前はワークを繰り返し解き基礎知識の定着を図るとともに、現在の社会で起きている出来事への関心を高めてほしいと思います。

## 3 教師からメッセージ

3年生では歴史的分野に加えて、公民的分野の学習が始まります。近代史は非常に複雑で難しい單元にはなりますが、多くのドラマがあった時代であり、現代社会を形作った重要な時代になります。また、公民的分野に関してはいま私たちが暮らしている社会の仕組みの基礎的な部分を学習していきます。もちろん受験もあります。義務教育を終えて世に出て、社会の形成者として足りうる資質を身に付けられるように頑張りましょう。  
また、公民的分野は学習した分、結果につながりやすいと思います。粘り強く取り組んでみてください。学習の際、留意しておくことを次に示します。

- ① 基礎的、基本的な知識を身に付けること。  
現代社会に社会にみられる様々な課題の解決策を構想するためにも基本的な知識を身に付けていることは重要です。  
単元ごとに行われる小テスト等も大切にしましょう。
- ② 学習したことどうしの関係をつかむこと。  
学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。これまでの学習で知っていることがらや、関係の深いことがらと結びつけることが大切です。
- ③ 勉強がおもしろくなってくるような工夫をすること。  
テレビのニュース、新聞などにできるだけなじんで、そのような話題を家族と話たりしましょう。社会の動きを知ることは、自分が将来、社会の中で何をしたいかを考える上でとても大切なことです。  
また、学習の中で課題の解決策を考える課題などに、粘り強く自分の考えを構想してみてください。

#### 4 学習内容及び評価について

月	学 習 内 容	試 験	評 価 観 点	評価の場面・方法
4	<歴史的分野> 第一次世界大戦と日本	中間試験	主 体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートへの記入状況</li> <li>・授業態度（発表等の積極性）</li> <li>・提出物の状況</li> <li>・学習課題への取り組み方</li> <li>・小テストへの取り組み</li> </ul>
5	世界恐慌と日本の中国侵略	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述式テストの状況</li> <li>・レポート作成状況</li> <li>・グループワークの取り組み状況</li> <li>・自分の考えの発言、記入状況</li> <li>・提出物の状況</li> </ul>
6	第二次世界大戦と日本 戦後日本の発展と国際社会 新たな時代の日本と世界		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	
7	<公民的分野> 現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	
9	人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述式テストの状況</li> <li>・レポート作成状況</li> <li>・グループワークの取り組み状況</li> <li>・自分の考えの発言、記入状況</li> <li>・提出物の状況</li> </ul>
10	現代の民主政治 国の政治の仕組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	
11	地方自治と私たち 消費生活と地方自治	期末試験	知 識 ・ 技 能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を活用した各テストの状況</li> <li>・提出物の状況</li> <li>・ワークシートへの取り組み状況</li> <li>・授業内の学習課題への取り組み</li> </ul>
12	生産と労働 市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会	学年末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	
1	国際社会の仕組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</li> <li>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</li> <li>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</li> <li>・未到達な内容についてどれだけ努力できたか</li> </ul>	

2	さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本		読みとることができたか。  ・調査した内容を工夫してまとめる ことができたか。  ・資料を読みとる問題を解くことが できたか。  ・知識や理解を問う問題を 解くことができたか。	み
3	より良い社会を目指して	次年度		・定期テスト ・小テスト

#### 4 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

A→十分満足している

B→おおむね満足している

C→「B」に達していない

(2) 評定

上記の3つの観点のA～Cの組み合わせにより、「教科として1～5の評定がつきます。また、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に基づいて評価します。

# 朝霞第一中学校 第3学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・わからないことをわかろうと、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

## 1. 授業への取り組み方

### ① 単元テスト

- ・単元のまとめとして、単元テストを実施します。授業の内容をきちんと復習して、数学の基礎基本をしっかりと身につけましょう。

### ② ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでいると、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。

### ③ 話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞きましょう。自分の考えが、より深くなります。

## 2. 提出物について

### ○ワーク

- ・ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。粘り強く取り組んでください。

### 【ワークの取り組み方】

- ・途中式を書くようにしましょう。
- ・筆算や、計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・計算スペースが足りない場合には、別紙や付箋を貼っても構いません。

それ以外にも、ノートやテスト直しレポート、宿題等の提出もあります。

## 3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

## 4. 評価について

3つの観点をⒶ, A, B, Ⓒ, Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA, B, Cの3段階で通知されます。

Ⓐ：十分に満足できるもののうち特に程度が高い A：十分満足できるもの B：おおむね満足できるもの

Ⓒ：努力を要するもの C：一層努力を要する

### ① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

### ② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

### ③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、宿題、レポート、確認テスト等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A, B, Cで評価しています。

## 【評定について】

各評価の観点ごとA, B, Cの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

## 【学年評定について】

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価（A・B・C）と評定（5段階）を行います。

## 【1年間の学習内容】

### 1章 [多項式] 文字式を使って説明しよう

・多項式と単項式の乗除 ・多項式の乗法 ・乗法公式 ・因数分解 ・公式を利用する因数分解 ・式の計算の利用

### 2章 [平方根] 数の世界をさらにひろげよう

・平方根 ・根号をふくむ式の乗除 ・根号をふくむ式の加減 ・根号をふくむ式のいろいろな計算

### 3章 [2次方程式] 方程式を利用して問題を解決しよう

・2次方程式とその解 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・因数分解を使った解き方  
・いろいろな2次方程式 ・2次方程式の利用

### 4章 [関数 $y=ax^2$ ] 関数の世界をひろげよう

・関数  $y=ax^2$  ・関数  $y=ax^2$  のグラフ ・関数  $y=ax^2$  の値の変化 ・関数  $y=ax^2$  の利用 ・いろいろな関数

### 5章 [相似な図形] 形に着目して図形の性質を調べよう

・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・相似の利用 ・三角形と比 ・平行線と比 ・相似な図形の相似比と面積比  
・相似な立体の表面積の比や体積比

### 6章 [円] 円の性質をみつけて証明しよう

・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円周角の定理の利用

### 7章 [三平方の定理] 三平方の定理を活用しよう

・三平方の定理 ・三平方の定理の逆 ・三平方の定理の利用 ・いろいろな問題

### 8章 [標本調査] 集団全体の傾向を推測しよう

・標本調査 ・標本調査の利用

# 理科 3 学年

## 1. 学習目標および年間計画

- (1) 水溶液の電気的な性質や、酸、アルカリの性質の学習を通して、イオンとは何かを理解する。
- (2) 観察実験を通して、細胞レベルで見た生物の体のつくりと生殖について学び、親の形質が子に伝わり（染色体の遺伝子による）、生命のバトンが渡され、受け継がれることを認識させる。
- (3) 運動のようすの調べ方を学び、力と運動について基本的な規則性について理解させ、仕事・エネルギーの考え方を理解し、実験観察を通して興味関心を高める。
- (4) 天体の観測を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽の特徴や太陽系についての認識を深め、天体及び宇宙への興味関心を高める。
- (5) 自然界における生物相互の関係について学び、食物連鎖により生産者・消費者・分解者のつりあいが保たれていることを理解する。
- (6) 水力、火力、原子力などのエネルギーについて理解し、資源の有効な利用について考えさせ、科学技術と人間生活に対する興味関心を高める。

理科 I		理科 II	
月	項目	月	項目
4	単元 1 化学変化とイオン 1 章 水溶液とイオン	4	単元 2 生命の連続性 1 章 生物の成長と生殖
5	2 章 酸、アルカリとイオン	5	2 章 遺伝の規則性と遺伝子
6	3 章 化学変化と電池	6	3 章 生物の多様性と進化
7	単元 4 地球と宇宙	7	単元 3 運動とエネルギー
8	1 章 地球の運動と天体の動き	8	1 章 物体の運動
9	2 章 月と金星の見え方	9	2 章 力のはたらき方
10	3 章 宇宙の広がり	10	3 章 エネルギーと仕事
11	単元 5 地球と私たちの未来のために	11	単元 5 地球と私たちの未来のために
12	1 章 自然のなかの生物	12	3 章 科学技術と人間
1	2 章 自然環境の調査と保全	1	終章 持続可能な社会のために
2		2	

## 2. 評価の観点・方法

### ① 知識および技能

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的な内容について基礎的な知識を身につけ理解を深められたか、および観察・実験の基本操作の習得、観察・実験の方法についての評価項目です。

○定期テストや小テスト、器具の扱い方、観察・実験の手順、データの正確さ、実技テストなどから評価します。

### ② 思考力・判断力・表現力

☆自然に関する事象や現象について、科学的に筋道をたてて考え、実験の結果を推察したり、結果から規則性や仕組みなどを見だし、まとめ、表現する力についての評価項目です。

○観察・実験のレポートの内容や授業の発言内容、テストの記述内容・正答率、プリントの記入状況などから評価します。

### ③ 学びに向かう力

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的内容について興味・関心を持ち、積極的に調べたり考えようとする態度についての評価項目です。

○授業中の発言内容や授業への貢献度、集中度、ノートの記録状況(書き方、まとめ方)、観察や実験に取り組む態度、ワーク等の提出物から評価します。

以上の3観点の評価を総合し、5段階で評定します。

「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」に基づいて評価します。  
詳細は埼玉県教育委員会のホームページでも確認できます。

## 3. 3学年理科の学習のしかた

- ① 理科の授業は自然現象の観察や実験が中心になります。積極的に実験器具や観察用具に触れ、興味・関心を高めながら授業に参加することが大切です。
- ② 実験・観察の目的を理解し、結果・考察までの見通しを持ち、予想を考えてから実験操作を行うことで、実験を深い学びにつなげましょう。
- ③ 実験の考察は班単位で話し合い、考えを深めたあと、必ず自分の言葉でかきましょう。
- ④ 授業中に配布されたプリント類は、なくさないようにノートにきれいに貼り付けましょう。理科1と理科2の授業用ノートは別々に用意してください。
- ⑤ 黒板に書いたことは必ずその時間にノートに記録しましょう。ただ黒板をうつすだけでなく、積極的にメモをとるようにすることがポイントです。
- ⑥ 授業の進度に合わせ、ワークを家庭学習として取り組みましょう。ワーク専用のノートを使って繰り返し問題を解くことがポイントです。間違った問題は、模範解答とよく照らし合わせて、正答の意味まで理解することが大切です。

音楽科	第3学年	1年間の学習内容とねらい
-----	------	--------------

### 音楽科の達成目標

- 音や音楽への興味関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする意欲を身につけさせる。
- 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音との関わり合い、形式などや、速度・強弱の働きを知覚し、音楽の持つ曲想や美しさを感じ取る能力を身につけさせる。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、曲に対する自分の解釈やイメージを、音を通して適切に表現していくため発声や楽器の扱い、読譜力などの基本的な表現の技能を身につけさせる。
- 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素のはたらきによる効果、我が国の音楽および世界の諸民族の音楽の特徴などを感じ取らせる。

### 評価の観点・方法

- 【評価の観点】**
- 知識・技能
  - 思考・判断・表現
  - 主体的に学習に取り組む態度
- 【評価の方法】**
- 実技テスト(歌唱・器楽)
  - 実技テストのふりかえりカード
  - 鑑賞ワークシート
  - 自己評価・相互評価
  - 授業の取り組み
  - 定期テスト(年2回)

### 特色ある学習方法

- VTR等を利用した合唱の取り組み(合唱コンクールや卒業式の映像。)
- 伝統音楽を大切にする態度を育て、和楽器や郷土の音楽を取り入れた学習

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○《花》 (心の歌) 【歌唱】</li> <li>○スメタナ 《ブルタバ》 【鑑賞】</li> <li>○学年合唱曲 【歌唱・鑑賞】</li> <li>○アルトリコーダー 「虹の彼方に」 【器楽】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語の抑揚にあわせた旋律の美しさを感じ、2声に分かれたハーモニーを楽しみながら歌う。</li> <li>○自然や情景を想像し、曲の背景や歴史を理解して鑑賞する。</li> <li>○曲にふさわしい発声法を学び、表現を工夫して歌う。</li> <li>○歌詞の内容と曲想とのかかわり、曲の構成などの特徴を理解し、表現を工夫して合わせて歌う。</li> <li>○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する。</li> </ul>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポピュラー音楽 《聖者の行進》 《マンボNo.5》など 【器楽・鑑賞】</li> <li>○合唱コンクールの クラス曲【歌唱】</li> <li>○カンツォーネ 「サンタルチア」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々なジャンルのポピュラー音楽を聴き、その特徴や現代音楽を魅力を味わう。</li> <li>○声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、音楽の構成を生かした表現を工夫する。</li> <li>○曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫する。</li> </ul>
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルトリコーダー 「星に願いを」【器 楽】</li> <li>○卒業式歌、卒業式答 辞の学年合唱 《群青》 【歌唱・鑑賞】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する。</li> <li>○歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きを生かして表現を工夫する。</li> </ul>

# 令和7年度 美術科シラバス

・学校教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・健康につとめる生徒

・美術科目標

- ・作品への理解や見方を深め、よさを感じ取る活動
- ・対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出す活動
- ・楽しく美術を主体的に取り組む活動

・生徒にめざしてほしいこと

- 1 感動する心を大切にし、心を豊かにする。
- 2 自分らしさを知り、表現や工夫する能力を身につける。
- 3 計画的に制作をし、粘り強く最後まで仕上げる力を身につける。

・学習内容

A 表現	(1) 絵や彫刻に表わすことによる発想や構想+創造的技能		(2) デザインや工芸に表わすことによる発想や構想+創造的技能	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○	○	○	○
第3学年	○	○	○	○

	1年	2年	3年
1 学期	人の動きに着目し、しっかりと対象を観て動きの面白さを表現する作品を制作する。	身近なパッケージデザインについて学び、お菓子のパッケージを制作する。	自分自身を客観的に見つめ、内面的なテーマを踏まえ、自画像を制作する。
2 学期	木材の特性を学習し、やすりで削る、彫刻刀で彫り、カトラリーを制作する。 幾何学図形などの組み合わせ配色を工夫し、自分らしい模様をコースターに表す。	日本の伝統的な技法を活用し、想いのこもったお面を制作する。	仏像について学習し、ものに祈りや願いを込めることの意義について考え、仏像をプロデュースする。
3 学期	文字の形の魅力を感じ取り、自分の名前を用いてレタリングを行う。	版の種類を学習し、シルクスクリーンを用いた基礎的な表現を使って自分らしく表現する。	意図をもって技法を選択し組み合わせながら感謝の気持ちをポップアップカードで表現する。

・評価の方法

作品、制作活動の観察、作品制作の過程、活動の様子、鑑賞プリントの記録

・三つの達成目標の関わり

学力	制作レポートの記述やその日の内容の確認など、文章で表現する。
規律ある態度	授業規律や話を聞く態度を身につける。その場に応じた指導と助言により、生徒の規律ある態度の育成に努める。

# 保健体育科学習案内

## 【評価の進め方】

※各観点別について（各選択種目の総合点で算出）

8割達成⇒A, 5割達成⇒B, 3割以下⇒C

※観点別の内容について

## ◆知識及び技能

- ①授業内容やルールの理解度
- ②技能テスト
- ③授業の観察（ゲームの様子等）

## ◆思考力, 判断力, 表現力等

- ①授業の観察（工夫した練習, 課題を克服する練習選択, 仲間へのアドバイス）
- ②学習カードの充実度

## ◆学びに向かう力, 人間性等

- ①体育授業の参加状況（欠席や見学の回数）
- ②授業の観察（発言・行動・積極性）
- ③学習カードの内容

※評定は、総合点で算出する。

## 【1学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
4月～	・オリエンテーション ・新体力テスト ・器械運動（マット運動・跳び箱） ・水泳			保健
5月～				
6月～				

## 【2学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
9月～	・陸上競技（ハードル・走り幅跳び・走り高跳び） ・球技（ソフトボール・バレーボール・バドミントン） ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス）			保健
10月				
11月～				
12月～				

## 【3学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
1月～	・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス） ・球技（サッカー・バスケットボール）			保健
2月～				
3月～				

## 【自主学習の仕方】

- 昼休みの運動、部活動での運動、放課後の運動を通して体力強化を図る
- スポーツをテレビや現地で観戦し、関心を高める。

# 令和7年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

## 3 学年

### ◆技術分野の目標◆

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

### 【学習内容】

技術分野は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」の4つの領域で構成されています。各領域において、一人ひとりが学習できるように教材・教具を用意し、製図、製作、整備、操作などの実習を通して、実践的・体験的な学習活動を進めていきます。

### ◆3 年間の学習◆

- |      |   |            |
|------|---|------------|
| 1 年生 | ガイダンス、生物育成に関する技術を利用した栽培、材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 | 合計 35 時間   |
| 2 年生 | エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作、情報とコンピュータ             | 合計 35 時間   |
| 3 年生 | プログラムによる計測・制御作品の設計・制作、情報セキュリティーとモラル               | 合計 17.5 時間 |

### 【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、電気、コンピュータなどを取り扱って実習するため、安全に充分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。また、教科書、学習ノート、タブレット、その他指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

### 【評価の観点・方法・基準】 次の3つの観点で評価をします。

#### ( 1 ) 「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

#### ( 2 ) 「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

#### ( 3 ) 「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

3年生では、1年間を通して生活とコンピュータのかかわりを知り、ソフトウェアを活用して技術習得を目指します。また、センサーカーの制作をおこない、走らせるための自分オリジナルのプログラミングを作成していきます。

☆ 年間計画 ☆

月	章	学習内容	学習のねらい
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年生での学習を知る</li> <li>・ 情報活用について</li> <li>・ センサーカーについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術の授業に見通しを持つことができる</li> <li>・ 必要な情報を集め、編集してプレゼンテーションをすることができる。</li> <li>・ 制作に興味を示すことができる</li> </ul>
5 6 7 9	デジタル作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 制御をおこなうための作品を制作する。</li> <li>・ 製作品の加工</li> <li>・ 制作品の組立</li> <li>・ 制作品の検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部品の用途を確認できる</li> <li>・ 取り付け方法を知り、適切に加工することができる。</li> <li>・ 最後まで組み立てができる</li> <li>・ あらかじめ内蔵されたプログラム通りに試運転が出来る。</li> </ul>
10 11 12 1	プログラムによる計測・制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プログラムによる計測・制御</li> <li>・ 身の回りにある電気製品について自動的に仕事をする例を調べる。</li> <li>・ コンピュータを利用した計測、制御の流れを調べる。</li> <li>・ 簡単な計測、制御するためのプログラムを作成する。</li> <li>・ 作品発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動的に仕事をする機能について理解できる</li> <li>・ 計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理について理解できる。</li> <li>・ 設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>
2	情報技術を活用しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報技術が社会や環境に果たしている役割について調べる。</li> <li>○ これからの生活や社会を豊かにするための情報技術の活用方法を考える。</li> <li>○ 情報技術を適切に評価、活用するための活動を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報に関する技術の課題を、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討し、適切な解決策を示すことができる。</li> <li>・ 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。</li> </ul>

**【家庭分野の目標】**

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

**【評価の観点・方法】**

**<評価の観点>**  
 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

**<評価の方法>**

①「知識・技能」  
 「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などを多面的に評価します。

②「思考・判断・表現」  
 習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

③「主体的に学習に取り組む態度」  
 積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

時間	学習内容	学習のねらい
17.5 時 間	<b>家族・家庭と子どもの成長</b> ○中学生になるまで ・わたしの成長と家族や周囲の人々	・家族の一員として、よりよい生活を送ろうという意識を高める。
	○幼児の生活と遊び ・幼児期とはどんな時代か ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・子どもの成長と家族の役割 ・幼児の遊びと発達 ・幼児の遊びを支える	・子どもの成長について学び、自分の成長を振り返ることで、今の自分を見つめ直す。 ・これから自分がどのように成長していくのか見通す力を身につける。 ・幼児の心身の発達を理解することができる。 ・幼児の生活に関心を持ち、幼児の生活に役立つ環境作りを工夫して考えることができる。
	○幼児とのふれ合い ・幼児のおもちやづくり ・幼児のおやつづくり ・幼児とのふれ合い	・幼児の遊び道具の製作を通して、遊び道具の役割や遊びを支える環境について考えることができる。 ・幼児の観察を通して幼児と適切にかかわることができる。
	○これからのわたしと家族 ・中学生と家族とのかかわり	・家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えることができる。

**【家庭学習のしかた】**

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

## 令和7年度 朝霞第一中学校 3学年英語科学習案内 (CAN-DO リスト)

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことへの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。
特色	話すこと [発表] の活動の軸として、教科書の Stage Activity を活用し、既習事項を用いた単元末活動を実施する。

### ①領域ごとの達成目標

Stage	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
1	社会で起きていることなどを知るために、日本や世界が抱える問題などについての会話やスピーチ、講演を聞いて、概要や要点をとらえることができる。	社会で起きていることなどを知るために、日本や世界が抱える問題について書かれた新聞記事や説明文などまとまりのある文章を読んで、概要や要点をとらえることができる。	社会で起きていることなどについて伝え合うために、日本や世界が抱える問題について内容を整理し、メモなどを活用しながら、たずねたり答えたりすることができる。	社会で起きていることなどについて伝えるために、メモなどを活用しながら、日本や世界が抱える問題について具体例や自分の経験などを加えて話すことができる。	社会で起きていることなどについて伝えるために、日本や世界が抱える問題について、具体例や自分の経験などを加えてまとまりのある文章を書くことができる。
2	社会で起きていることなどを知って説明したり自分の行動を考えたりするために、社会的な話題についての会話やスピーチなどを聞いて、要点をとらえることができる。	社会で起きていることなどを知って説明したり自分の行動を考えたりするために、社会的な話題についてのレポートや伝記などまとまりのある文章を読んで、要点をとらえることができる。	社会で起きていることなどについておたがいの理解を深めるために、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合ったり、たずねたり答えたりすることができる。	社会で起きていることなどについて自分の意見などを伝えるために、聞いたり読んだりしたことをもとに、社会的な話題について事実や考えなどを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。	社会で起きていることなどについて自分の意見などを伝えるために、聞いたり読んだりしたことをもとに、社会的な話題について事実や考えなどを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。
3	社会で起きていることなどについて意見を述べるように、社会的な話題についてのディスカッションやニュースなどを聞いて、要点をとらえることができる。	社会で起きていることなどについて意見を述べるように、社会的な話題について書かれた説明文などまとまりのある文章を読んで、要点をとらえることができる。	社会で起きていることなどについて、自分の願いや賛成や反対の意見を述べ合うことができるように、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理して話し合いをすることができる。	社会で起きていることなどについて賛成や反対の意見を述べるように、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに、事実や考えを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。	社会で起きていることなどについて意見を述べるように、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の考えや気持ち、その理由などを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。
学年末	社会で起きていることなどについて考えや意見を述べるように、は	社会で起きていることなどについて考えや意見を述べるように、社	社会で起きていることなどについておたがいの理解を深めるために、聞いたり読んだり	社会で起きていることなどについて自分の意見などを伝えるために、社会的な話題につ	社会で起きていることなどについて自分の意見などを伝えるために、社会的な話

	つきりと話された社会的な話題についてのディスカッションやニュースなどを聞いて、要点をとらえることができる。	会的な話題についての新聞記事や説明文など、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章を読んで、要点をとらえることができる。	したことをもとに考えや意見を整理して伝え合ったり、たずねたり答えたりすることができる。	いて聞いたり読んだりしたことをもとに事実や考えを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。	題について聞いたり読んだりしたことをもとに、事実や考えを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。
--	---	---	---	--	--

## ②単元の授業計画

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開き</li> <li>・学び方コーナー</li> <li>・Unit 0 Discover a New Side of Classmates</li> <li>・Unit 1 What is special about Japanese pop culture?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、現在形や過去形、because などを用いて、伝え合ったり、たずねたり答えたりできる。</li> <li>・現在完了形（経験用法）を用いた文、SVOC（C=形容詞）、SV00（that 節）の文の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて、話したり、書いたりして伝え合うことができる。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Real Life English 1 ディスカッション</li> <li>・Learning Japanese in English</li> <li>・Unit 2 How do you choose your clothes?</li> <li>・Real Life English 2 講演 <u>中間テスト</u></li> <li>・Grammar for Communication 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見をまとめて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行の班行動で行きたい場所についてのディスカッションを聞いて、要点を捉えることができる。</li> <li>・英語で俳句を書くことができる。</li> <li>・現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解し、エシカルな商品の特徴や長所を伝えるポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。</li> <li>・社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えることができる。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit 3 How can we save animals?</li> <li>・Real Life English 3 グラフや表の活用</li> <li>・Learning SCIENCE in English</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈It is ... (for + (人など) + to)〉の文、〈want + (人など) + to〉や〈let [help] + (人など) + 動詞の原形〉を用いた文の理解をもとに、人にとって大切だと思うことや、人にしてほしいことなどについて伝えることができる。</li> <li>・日本国内の絶滅のおそれのある動物について感想や意見をまとめるために、資料から読み取った情報について事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書くことができる。</li> <li>・生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ることができる。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Grammar for Communication 2</li> <li>・Stage Activity 1 Discover Japan</li> <li>・Let's Read 1 A Mother's Lullaby</li> <li><u>期末テスト</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずねることができる。</li> <li>・場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の変化や登場人物の心情を読み取ることができる。</li> </ul>
8月 ・ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit 4 How can we help each other in a disaster?</li> <li>・Real Life English 4 町中での手助け</li> <li>・Leaning Art in English</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接疑問文と SVOO (what 節) の文、現在分詞・過去分詞を用い、防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、話し合うことができる。</li> <li>・困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えることができる。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動について、情報と考えを整理して感想を伝えることができる。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit 5 What makes a good leader?</li> <li>・Real Life English 5 記事への意見</li> <li>・Grammar for Communication 3</li> <li>・Stage Activity 2 My Activity Report</li> </ul> <p><b>中間テスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which](主格・目的格)を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> <li>・社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書くことができる。</li> <li>・後置修飾を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・Unit 5 までの学習事項を用い、これまでの経験をふり返って活動報告ができる。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit 6 What does it mean to be a global citizen?</li> <li>・Real Life English 6 テレビの国際ニュース</li> <li>・Leaning Social Studies in English</li> <li>・Grammar for Communication 4</li> </ul> <p><b>期末テスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、仮定法と主語を説明する関係代名詞を用い、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。</li> <li>・ニュースなどのテレビ番組の音声を開いて内容を聞き取ることができる。</li> <li>・世界の現状について知るための語句の理解をもとに、聞いた内容を伝える英文を書くことができる。</li> <li>・仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張ができる。</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Read 2 Power Your Future</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る事ができる。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Read 3 Coloring Outside the Line</li> </ul> <p><b>学年末テスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取ることができる。</li> </ul>

### ③観点別評価規準と評価方法(＊)

	聞く	読む	話す [やり取り]	話す [発表]	書く
知識・技能	対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動	単語や文章を声に出して読むことができる。 ＊teamsによる音読課題 ＊授業内での活動	知っている単語を使って、相手との会話を成立させることができる。 ＊授業内での活動	絵や図について簡単な英語で説明することができる。 ＊授業内での活動	英語で語句や文を書く際のルールを理解し、正しく運用できる。 ＊単語テスト ＊定期テスト ＊授業内での活動
表現 思考・判断・	対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト	資料や文章を読み取り、それに関する質問に適切に答えることができる。	問いかけに対し、適切に回答ができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	課題について、簡単な英語を用いて発表することができる。 ＊スピーキングテスト	課題について、つながりのある文章を書くことができる。 ＊定期テスト

	* 授業内での活動	* 定期テスト * 授業内での活動		* 授業内での活動	* 授業内での活動
主体的に学習に取り組む態度	相手の話になづいたり、相づちを打つなどしながら、積極的に聞こうとする姿勢が見られる。 * 授業内での活動	間違いを恐れず、しっかりと声を出して単語や文章を読むことができる。 * teamsによる音読課題 * 授業内での活動	AETやJTEと積極的に会話しようとしている。 ペアやグループでの活動に積極的に参加している。 * 授業内での活動	間違いを恐れず、積極的に発言・発表しようとしている。 * 授業内での活動	授業内で行われた課題に真剣に取り組み、期限を守って提出している。 習ったことを活用し、単語や文を書いている。 * ワークシート * 提出物 * 授業内での活動

### 観点別評価の評価規準

3つの観点をⒶ,A,B,ⓐ,Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA,B,Cの3段階で通知されます。

Ⓐ：十分に満足できるもののうち特に程度が高い A：十分満足できるもの

B：おおむね満足できるもの ⓐ：努力を要するもの C：一層努力を要するもの

\* 達成率は、目安です。テストの平均点や問題のバランスにより多少変化します。

観点別評価と評定の対応関係 3つの観点の合計から評定を算出します。

《評価の例》 Ⓐを5点,Aを4点,Bを3点,ⓐを2点,Cを1点に換算する。

観点の例	換算点	評定	達成度
ⒶⒶⒶ, ⒶⒶA	(15,14点)	5	90%程度
ⒶAA, AAA, AAB	(11~13点)	4	80%程度
ABB, BBB, BBⓐ	(8~10点)	3	50%程度
Bⓐⓐ, ⓐⓐⓐ, ⓐⓐC	(5~7点)	2	40%程度
ⓐCC, CCC	(3,4点)	1	20%程度

### ④家庭学習のしかた

聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語や教科書の本文を音声で確認してみよう。</li> <li>①音だけ ②文字を見ながら ③聞き取れたものを書いてみる と、慣れてきたら方法を変えてみよう。</li> <li>Podcast を活用して、日本のニュースを英語で聞いてみると、より高度な英語の音声や、話すスピードに慣れることができます。</li> </ul>
読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読は、正しい発音と文法を同時に覚えることができる勉強方法です。教科書を見ながら、たくさん口を動かして、身体に英語をしみこませよう。</li> </ul>
話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の勉強は真似をするところから。好きな映画をみながら、セリフを口に出してみよう。</li> <li>Duolingo などのアプリを活用して、家でも英語を話す機会を作りましょう。</li> </ul>
書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しいスペルを覚えるには、口と手を動かすことが必要です。その日に習った単語や文を声に出しながら、ノートに書いてみよう。自分で問題を作って、日本語を英語に直す練習をしよう。</li> </ul>

## ⑤使用教材

①教科書（東京書籍 NEW HORIZON English Course 3）

②PP フラットファイル（青）

③めきめき English（浜島書店）

④入試リスニング（正進）・